

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和4年度 相武台地区まちづくり会議 第4回全体会		
事務局 (担当課)		相武台まちづくりセンター 電話046-254-3755		
開催日時		令和4年11月18日(金) 午後6時から午後7時30分まで		
開催場所		相武台公民館 2階 大会議室		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	2人(まちづくりセンター所長、主査)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 会議の傍聴 3 会長あいさつ 4 議題 (1) 現最終処分場の嵩上げに係る工事について (2) 相武台地区まちづくりを考える懇談会 ア 懇談会の流れ及び役割分担 イ 懇談会の座席表(仮) ウ 懇談会のテーマシート(案) (3) 各団体等からの依頼事項、お知らせ事項など 5 その他 (1) 「南市民ホールの集約化(廃止)についての説明会」のご案内 (2) 次回以降のスケジュール		

## 議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

### 1 開会

### 2 会議の傍聴

傍聴希望者が2人おり、会議に諮り傍聴が許可された。

### 3 会長あいさつ

瀬尾会長よりあいさつがあった。

### 4 議題

#### (1) 現最終処分場の嵩上げに係る工事について

事務局より資料に沿って説明を行い、意見等はなかった。

#### (2) 相武台地区まちづくりを考える懇談会

流れ及び役割分担、座席表について、事務局より資料に沿って説明を行い、意見等はなかった。なお、座席表については、仮のものであり、市側の出席者が決まったら、間隔を空けて座れるよう調整することとした。

テーマシートについて、役員会で図書館相武台分館の話題が出たが、分館は流動的な状況であり、今後、まちづくり会議で担当部署から説明を聞く機会を設けるため、ボリューム的にも今回のテーマには加えないことを会長より伝え、委員の了承を得た。その後、事務局より資料説明を行い、次のとおり意見等があった。

(松嶋理事) 先日、最終処分場等の見学があったが、参加者の感想が聞きたい。

(山口委員) 南清掃工場が新しくなり初めて行ったが、大量のごみを目の当たりにし、人間がいかに地球に負担を掛けているかを感じた。

最終処分場については、地割れなど災害が起きた場合に大きな影響を及ぼすのではないかと心配しており、100%安全と言えない以上、この地に新たな処分場を増やすべきではないため、選定について話し合いをしていきたい。

(塚田委員) 処分場にある排水設備は停電時には動かないとのことで、地震が来た時にどうなるのか不安である。こんなに大きいものがもう一つできることは想像できず、住民感情として嫌だと感じた。

(瀬尾会長) この排水施設には自家発電設備がなく、停電時の具体的な対策がなかった。独特の臭いがあり、現地に行かないと気付かなかった。

(高橋副会長) 道路から見える部分が処分場だと思っていたが、その裏に既に嵩上されたものがあり、こんなものがもう一つできるのは大変だと思った。

(迫委員) 清掃工場は規模が大きく、立派な施設だが、それでも燃えカスなどは出てしまうので、埋めて処分することは仕方がないと感じた。

処分場は、市のホームページで見た写真から、かなり埋め立てが進んでおり絶句した。旧処分場は昭和54年から稼働しており、この地域だけ長期間しわ

寄せをうけるのはおかしいのではないか。完璧な設備というものはなく、多くの方が住んでいる地域なので、設備が壊れたときが心配である。

当該地域は、相武台地区ではないが相武台に実害がある地域であるため、どのような対策をしており、何かあった際はどのような被害があるのかなどの説明を聞き、これだったら譲歩できるというような議論が必要と考える。

(川崎委員) 処分場については、説明が不十分で不安を煽ってしまっており、麻溝台・新磯野地区整備推進事業と同じような状況になってしまうのではないかと心配している。まずはリスクを洗い出し、プラスとマイナスの両方を示した上で判断していかなければいけない。

(永井委員) 道路から見えている部分が処分場だと思っていたので、その裏側のノジマメガソーラーパーク（旧処分場）を見て驚いた。地域の中にある場所なので、地震等の大災害があったときどうなるのか恐怖を感じた。説明を受ける前に現場を見るべきで、市の動きは後手後手である印象を受けた。

(松嶋理事) 道路からは後ろ側にある巨大な施設はわからない。こんなものをもう一つなんてとんでもない。市は「安心して」というが、安心の度合いは人により違う、何かあった時の被害は不透明であるので、分散して設置すべきだと思う。ただ、清掃工場で山のようなごみを見て、我々も何も考えずにごみを出しているのではと感じた。燃えるものだからと何でも捨てるのではなく、市民としてごみを減らす取組が必要である。

(長堀理事) 排水設備が複雑なものであったため、災害が起こった時に予測ができないような問題が起きるのではないかと考えた。処分場は埋め立てから安定化するまで約50年、もう一つ処分場ができたとすると約100年もの間この地域はリスクを負うことになる。また、処分場から出るときにバスのタイヤを洗浄していたが、それだけ危険なのかと感じた。

(瀬尾会長) 南清掃工場の焼却機能の方が優れているので、燃やし切れていない緑区の一部のごみを受け入れて再焼却処理をしているが、緑区の清掃工場を最新型にすれば解決するのではないか。また、次期処分場の設置について、まちづくり会議としての採決をとっていなかったが、現処分場の嵩上は受け入れるが設置は反対という考えでよいか。(委員から了承の声)

(大西委員) 若草小学校では、目的は不明だが毎年ダイオキシン検査をしていた。また、市内でも一番早くエアコンが導入されたのは、できるだけ窓を開けるなということだと思っている。処分場ができれば周辺に何らかの影響があると考えるので賛成はできない。南区だけが犠牲になるのはおかしいので分散してほしい。お金が足りないのであれば、ごみを有料化することで解決できる。

(荻原委員) 若草小学校の近くには南清掃工場があるので、その検査だと思うが、処分場の検査だとすれば大問題である。もし処分場の検査だとするのであれば、

これまでの市の説明は納得できない。

(迫委員) 既存施設近くに設置することでコストが安くなることは理解できるが、これだけ住民がいる中で被害が出た場合のコストも考えなければいけない。市として人を減らしていく方針の地域であればまだわかるが、そのような話は聞いていない。人が住むこの環境に、このようナリスクを持ち込んでおいて、コストが安いという説明は意味がわからない。

(荻原委員) 処分場見学の話聞いて、恐ろしい施設というイメージが湧いた。まちづくり会議だけで反対するのではなく、もっと住民を巻き込んで反対するべきではないか。どこかには作らないといけなことは理解できるが、相武台に作らせないためには地域がまとまる必要がある。

(瀬尾会長) 自分の目で見ること心から反対だと言ふことができる。ここだけで騒いでいても意味がないので、まずは市民説明会に皆さんが出席し、まちづくり会議を構成する各団体での反対運動に繋げていけばいい。

(荻原委員) 処分場を見学していない人が説明会に出席してもわからないので、多くの人が出るよう、見学の機会を複数回設けてもらいたい。

(松嶋理事) 処分場の嵩上はそこまで高いものではないと思っていなかったが、既に嵩上された旧処分場はピラミットのような高さであり、道路からは氷山の一角しか見えておらず、中に入らないとわからないと感じた。

見学は処分場だけとし、現地集合でもよいので、土日に行くなど広く募集してほしい。できれば説明会の前をお願いしたい。

(市) 見学要望については、バスによるピストン輸送なども含め、関係機関と調整し、役員に確認した上で皆さんにお知らせする。

(三畑委員) もし処分場に亀裂ができたとしたら、具体的にどのような影響があるのか気になる。全国にある同様の施設ではどのような対策をしているのか。

(山口委員) 東京都では陸に埋め立てる場所がないため、土に埋めるより費用が掛かってしまうが、海に埋め立てていると聞いている。

処分場の各候補地の設置費用について、聞いた話で正確な数値ではないが、麻溝台2箇所では50億円と80億円、津久井の根小屋2箇所は100億円と120億円、費用が掛かりすぎると候補地から外された藤野の佐野川は250億円と聞いている。費用が掛かっても、住民への影響が少ないのであれば、佐野川を候補地とすべきと話している。これも聞いた話ではあるが、処分場の話をした際に津久井では暴動が起きるぐらいの反応だったとのことで、相武台もしっかりと声をあげていくべきと感じた。

(松嶋理事) 処分場について、もう少し話が進み、市からの方針等が出たときに、それに対する署名活動や要望書を出すなどの動きがあるかもしれない、その際は皆さんにも協力をお願いします。

麻溝台・新磯野地区整備推進事業について、この場では意見がなかったが、市からの説明は曖昧なものが多いので、具体的な数値を出すなどもう少し論理的な説明となるよう要望していく。

小学校の再編等について、市は3校が2校になったら児童館も減らすといった安易な決定をしてくるが、実際に子どもたちが過ごす様子を見れば、そんなことは言えないはず。閉校後の施設利用については、溝口委員より色々な策を出してもらっているが、まだ先のことまでは見通せないので発言要旨の内容にとどめて、今回はこの3つについて相武台の考えを示していきたい。

(溝口委員) 施設利用については、日本初の取組を取り入れるなどして、メディアから取材に来てもらえるような施設にしたいと考えている。私案であるので、皆さんからも意見をいただきたい。

(瀬尾会長) 資料にバスケットボール専用体育館とあるが、その理由は。

(溝口委員) バスケットボールは競技人口が多く、専用体育館としてまだ誰も手を出していない種目である。また、相模原市出身のプロリーグの選手がいて、相模原市をバスケットボールの聖地にしたいと活動しているが、ちゃんとした練習場の確保が課題とのことで、コラボレーションできないかと考えている。こだわっている訳ではないので、他にもよい案があればと思う。また、示したものは個別の施設としてではなく、すべてを入れた施設としたい。

(迫委員) 世代をまたがった交流ができる施設案はないか。

(溝口委員) ファミリーD I Yセンターが近いと思うが、イギリスの取組でD I Yを地域で楽しむ「男の小屋」からヒントを得たもので、D I Yという話題を通して、世代を問わずに色々な人が集まれる場所としたい。

(川崎委員) 男性グループはみんな音頭をとりたがってしまうが、こういった施設であれば、フラットと一人で行っても自分の役割があり、ルールさえ守れば何にも囚われないので、誰もが居心地のよく過ごせる場所となる。

### (3) 各団体等からの依頼事項、お知らせ事項など

(松嶋理事) 11月27日(日)午後5時より、相武台駅前公園にてイルミネーションの点灯式を行うので、お時間のある方はお越しください。

(溝口委員) 11月20日(日)に相武台団地商店会で、モルックの大会やお店が出る秋楽祭を行うので、ぜひお越しください。

## 6 その他

(1) 「南市民ホールの集約化(廃止)についての説明会」のご案内  
事務局よりお知らせを行い、意見等はなかった。

(2) 次回以降のスケジュール  
事務局より今後のスケジュールを確認し、意見等はなかった。

相武台地区まちづくり会議 委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	瀬尾 守一	相武台地区自治会連合会	会長	出席
2	高橋 孝雄	相武台地区社会福祉協議会	副会長	出席
3	砂村 久三子	相武台地区民生委員児童委員協議会	副会長	出席
4	宮本 憲雄	相武台公民館	副会長	出席
5	松嶋 保和	相武台地区自治会連合会	理事	出席
6	奥野 智	相武台地区自治会連合会	理事	欠席
7	長堀 直美	相武台地区自治会連合会	理事	出席
8	小林 勉	南区安全・安心まちづくり推進協議会 相武台支部		出席
9	荻原 正人	相武台地区青少年育成協議会		出席
10	永井 保子	相武台公民館運営協議会		出席
11	迫 良寛	相模原市青少年指導委員連絡協議会 相武台地区協議会		出席
12	佐藤 隆一	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会 相武台地区協議会		出席
13	中山 あゆみ	小学校PTA		欠席
14	関塚 孝枝	相武台中学校PTA		欠席
15	大西 輝佳	相武台こどもセンター		出席
16	堀田 典子	相模原市立相武台第3児童館		出席
17	塚田 幸恵	相武台地区老人クラブ連合会		出席
18	川崎 知恵子	相武台地域包括支援センター		出席
19	溝口 興二	商店街		出席
20	神藤 次郎	相模原看護専門学校		出席
21	山口 恒	相模原市消防団南方面隊第2分団		出席
22	三畑 武一	経験有識者		出席